

目 次

まえがき	1
松原 洋子 (立命館大学人間科学研究所所長／先端総合学術研究科教授)	
シンポジウム 1 犯罪からの社会復帰に必要なものを考える： 法と対人援助の視点から	
企画趣旨	8
相澤 育郎 (立命館大学立命館グローバル・イノベーション 研究機構 専門研究員)	
報告 1 犯罪からの社会復帰に必要なものを考える： 刑務所の視点から	11
毛利 真弓 (広島国際大学心理臨床センター 特任助教)	
報告 2 犯罪からの社会復帰に必要なものを考える： 法と対人援助の視点から	21
中村 正 (立命館大学産業社会学部 教授)	
報告 3 犯罪からの社会復帰に必要なものを考える： フランスの法と制度から	32
相澤 育郎 (立命館大学立命館グローバル・イノベーション 研究機構 専門研究員)	
報告 4 犯罪からの社会復帰に必要なものを考える： オーストラリアの場合	45
森久 智江 (立命館大学法学部 准教授)	
質疑応答	57
シンポジウム 2 縦断研究のこれまでとこれから： 科学的根拠に基づく対人援助を目指して	
企画趣旨	68
矢藤 優子 (立命館大学総合心理学部 教授)	

報告 1	抑うつ世代間伝達に関する長期縦断研究 一慢性的逆境要因の連鎖の観点から	69
	菅原ますみ（お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系 教授）	
報告 2	子育て子育てエンパワメント：根拠に基づく実践システム	79
	安梅 勅江（筑波大学医学医療系 教授）	
質疑応答 1		84
報告 3	学融的な人間科学の構築と科学的根拠に基づく対人援助の 再編成	88
	矢藤 優子（立命館大学総合心理学部 教授）	
質疑応答 2		96
閉会挨拶		103
	矢藤 優子（立命館大学総合心理学部 教授）	
附録	ポスターセッション演題・抄録一覧	105
あとがき		121
	相澤 育郎（立命館大学立命館グローバル・イノベーション 研究機構 専門研究員）	